

授業改善推進プラン < 数 学 科 >

(数 学) 科における平成29年度授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題

習熟度別少人数授業の体制が定着し、基礎クラス・発展クラスにおいて、それぞれの習熟度に応じた授業を展開することができた。

概ねどの領域においても目標値と同程度以上の正答率を残すことができた。しかし、2年生の「関数」領域で目標値を下回り、課題が残った。

(数 学) 科における調査結果の分析

内容別結果の分析	<p>1 学年：各内容目標値を上回っているが、特に「整数の性質」で8.9ポイント、「面積と体積」9.3ポイントと大幅に上回った。</p> <p>2 学年：各内容目標値を上回っているが、特に「文字式」で9.2ポイント、「平面図形」で9.7ポイント、「資料の散らばりと代表値」で7.8ポイントと大幅に上回った。</p> <p>3 学年：概ね各内容で目標値を上回ったが、特に「連立方程式」で1.7ポイント、「図形の性質」で2.9ポイントと下回り課題が残った。</p>
観点別結果の分析	<p>1 学年：すべての観点において目標値を上回り、特に「関心・意欲・態度」で6.9ポイント、「見方や考え方」で6.8ポイントと大幅に上回った。</p> <p>2 学年：すべての観点において目標値を上回り、特に「見方や考え方」で5.6ポイント、「技能」で5.8ポイントと大幅に上回った。</p> <p>3 学年：概ね各観点で目標値を上回ったが、「知識・理解」で0.2ポイント下回り課題が残った。</p>

調査結果に基づいた授業改善のポイント

- 1 学年：各領域目標値を上回っているため、ステップ学習のチャレンジプリント等を活用し、より発展的な内容にも取り組んでいく。
- 2 学年：「関数」領域に課題が見られるので、電子黒板を使い視覚に訴える授業を行うとともに、ステップ学習を活用し補っていく。
- 3 学年：「数と式」及び「関数」領域に課題が見られるので、ステップ学習を活用し補っていくとともに、「関数」領域に関しては電子黒板を使い、視覚に訴える授業を行っていく。

(数 学) 科の授業改善策

- 1 学年：基礎基本の定着を基盤とし、発展クラスを中心にステップ学習のチャレンジプリント等を活用し、より発展的な内容にも取り組むことで、更なる学力向上を目指していく。
- 2, 3 学年：苦手な領域に関しては、電子黒板を活用し、イメージで捉えることに重点をおき、視覚に訴える授業を展開していく。また、ステップ学習のフォローアッププリントやたしかめプリントを活用することで、学習の定着を図っていく。

